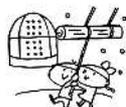




# 12月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



## 共感能力を豊かに

園長 立石 晃子

11月24日(水) 荒川区教育委員会のご支援のもと無事に研究発表会を終えることができました。オンラインでの開催となりましたが、当日は東京都教育委員会をはじめ、荒川区立幼稚園・こども園だけでなく、地域の方々、荒川区立保育園全園、私立保育園、荒川区立小学校、区外幼稚園等、多数のご参加をいただきました。幼児同様に「コロナ禍においても学びを止めない」という幼稚園・こども園、保育園、小学校の教職員の皆様の熱意に敬意を表するとともに、ご理解とご協力をいただき大変感謝しております。

さて、年中たんぼぼ組では、学級で「おおおかみとヤギの鬼ごっこ」が盛り上がっています。いわゆる「助け鬼」ですが、子供たちのイメージが沸きやすいよう、担任が絵本から鬼遊びのネーミングを考えました。絵本を読み、園庭で鬼遊びが始まりました。助け鬼の中で、子供たちはたくさんの姿を見せます。「捕まるのが嫌」「足が遅いから」「転んじゃったから」とベンチに座る子、「助けてもらえなかった」と泣き始める子、助けに行ったのにヤギのおうちに帰る途中おおかみにタッチされ、それはずるいよ...と思いながらも言えずに下駄箱の奥に隠れて泣いてしまう子、途中ぶつかってしまって「痛い!」と泣き鬼ごっこから外れる子...。でも、たんぼぼ組の子たちは今までと違います。学級の友達と過ごした楽しい経験が積み重なり、一人一人の中で「友達と一緒に遊びたい」という思いが、悔しい気持ちや痛みよりも上位になります。しばらくすると気持ちを切り替え、また鬼ごっこに参加していきます。教師は遊びに戻ってきた子を受け入れ、遊びが盛り上がるよう、子供たちの様子を見ながらルールを再確認したり、再構築したりしていきます。

幼児期の終わりまでに育ててほしい姿に「道徳性・規範意識の芽生え」があります。「友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや、悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり友達の気持ちに共感したり、相手の立場にたって行動するようになる。また、決まりを守る必要性がわかり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、決まりを作ったり守ったりするようになる」という内容です。東京大学名誉教授 汐見 稔幸先生は著書の中で、「道徳的になるためには、人間は小さな不道徳を重ねることも必要。小さな不道徳を重ねる中で、道徳が大事と思うようになる。」「道徳のベースは、共感能力を豊かにすること。頭にきたらやっつけるといった攻撃性ではなくて、困ったときに助けてもらって共感されることの喜びをたくさん経験することで、人の困ったというような気持ちに共感して応答することが喜びになっていく。」とおっしゃっています。また、「ルールは守るのと作るのと両方が大切。」ともおっしゃっています。助け鬼の活動の中で、たんぼぼ組の子供たちはまさにこのことを学んでいます。

## 楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

### < 3 歳もも組 >

みんなと一緒にだから楽しいんだね！

待ちに待ったバスでの遠足や育てたサツマイモを味わった焼き芋会を始め、みんなで一緒に過ごしたり遊んだりという時間が増えてきました。焼き芋会では、「みんなでしたから楽しい」「頑張ったからおいしい」という喜びを感じている様子がありました。最近のもも組では、みなでお店屋さんごっこを楽しんでいます。紙のおにぎりや紙粘土のどんぐりケーキをそれぞれ作ってみんなの遊びに使ったり、毛糸の麺やフェルトのサンドイッチを盛り付けたりし、お店が開店します。お客さんは、折り紙で作ったマイ財布をもって買い物に出かけ、「いらっしゃいませ～」「これ1つください！」「100円です」「はい、お金です」「ありがとうございました～」と、子供同士で関わったりイメージを共有したりしながら現実さながらのやりとりを楽しんでいます。

12月は、もちつき会や冬のつどい、大掃除など冬ならではの行事が盛りだくさんです。初めての経験が楽しい思い出となり、2学期を締めくくれるように過ごしていきます。

### < 4 歳たんぼぼ組 >

すごいね！作ってみたい！もっと遊びたい！

秋の自然物を使って、どんぐりにペンで顔を描き人形を作ったり、動物を作り上げたり、ごっこ遊びに必要な品物作りのトッピングや芋づるリースの材料に使ったりと、いろいろな場面で自然物に触れ合いました。帰りの集まりで作っているものを紹介すると「すごい！今度それ作ってみたい！」と、友達作品に興味津々です。友達に作り方を教わりながら作り上げていました。戸外では、「おおかみとヤギの鬼ごっこ」をして遊んでいます。鬼がいない隙をよく見て友達を助けに行ったり、鬼に捕まることが怖くて動くことができずいたり、友達に助けてもらって嬉しい表情を浮かべたりして、活動後は「もっと遊びたい！」と意欲が高まっています。

12月は一段と寒さが増していきますが、引き続き寒さに負けず体を動かして遊ぶ経験を積み重ね、友達とのつながりを感じながら遊びを楽しんでいます。そして、もちつき会や、冬のつどいなど楽しい行事もあります。みんなで楽しい時間を共有し、2学期を気持ちよく締めくくれるようにしていきます。

### < 5 歳ばら組 >

「分かる」「できた」を様々な場面で経験して自信に！みんなでやるぞ、劇遊びの会！

11月は汐入東小への園外学習、アートの日、汐入小学校の音楽会、図書館利用、焼き芋会など、様々な方にご協力をいただき貴重な経験を重ねることができました。アートの日では、膠、水干絵具、箔といった普段触れることのない素材に触れ、工程をよく理解しながら丁寧に作品を作り上げる様子が見られました。真剣な眼差しや出来上がったときの満足そうな表情も印象的でした。

最近では、みんなでアイデアや思い、知識、知恵を出し合い、創作の劇あそびをしています。子供たちの自由な発想と考えを伝えようとする意欲、互いのアイデアや頑張りを認め合える良さを生かし、細かい設定やシーンごとの言葉のやり取りなども相談しながらお話を作っています。

12月はみんなで劇遊びに取り組み、やり遂げる充実感を味わうとともに、コマやあやとり、けん玉などのお正月遊びでじっくりと遊ぶことを十分に楽しみ、それぞれが自分の力を試したり、発揮したり、友達と刺激し合いながら取り組んだりできるように援助していきます。